

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	併設の特養と合同で年2回の避難訓練を行っているが、ホーム独自での訓練は行っていない。また、具体的な利用者様に対する個別の誘導方法が確立していない。	火災等災害時に速やかに適切な対応ができるように、マニュアルを作成し、すべての職員が同じように避難誘導ができるようにする。	法人内のHQM活動の中で、ホームのテーマとして取り上げ、日中・夜間の各利用者様の避難誘導の手順や経路等のマニュアルを作成し、定期的なホーム内での避難訓練を行っていけるような仕組みを作る。	7ヶ月
2	2	地域に出かけた際には、挨拶や声掛け等、地域交流には積極的に努めているが、事業所の力を活かすような地域への取組みがない。	地域の方々にホームの中の様子を知ってもらい、より身近に感じてもらえるようになる。	デイホールを地域の方のサークル活動や寄り合い場として提供したり、認知症ケアに関する勉強会等を開催し、ホームのことを知っていただく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。